

[2022.1.21]

■「令和4年度 地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体の公募について」のご案内

■地域循環共生圏・なうっ！

■『第10回 寺子屋ローカルSDGs』開講のご案内～テーマは外部人材の巻き込み方～

■『20年後の子どもたちに豊かな森を！ 森里川海 Social Up ワークショップ in 茂木町』のご案内

=====
■「令和4年度 地域循環共生圏づくりプラットフォームの構築に向けた地域循環共生圏の創造に取り組む活動団体の公募について」のご案内

「令和4年度環境で地域を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」では、地域循環共生圏の創造に向け、本事業の主体として「地域の総合的な取組となる経済合理性と持続可能性を有する構想策定及びその構想を踏まえた事業計画の策定」、「地域の核となるステークホルダーの組織化」等の環境整備と一緒に取り組んでいただける意欲ある団体の公募を開始しました。

また、本事業の公募説明会を、令和4年1月25日(火)10:30～12:00にオンライン(Webex)にて開催します。活動団体の主たる担当者につきましては、公募説明会に参加又は公募説明会のアーカイブ動画(YouTube)を視聴し、事業内容の把握をお願いいたします。

【公募実施期間】令和4年1月18日(火)～同年2月16日(水)

【対象】地方公共団体又は地方公共団体と連携し地域循環共生圏創造に向けた環境整備に取り組む民間団体若しくは協議会。また、複数の地方公共団体の連携による団体。

【公募団体数】8団体程度

【事業規模】1団体当たり、200万円(税込)を上限として、請負者が環境整備に係る取組に要した経費を負担します。

【事業年度】原則単年度としますが、翌年度の予算が確保され、活動団体の希望があり、かつ環境省が必要と認めた場合、令和4年度を含む最長で2か年、継続的に実施することができます。

【詳細・応募方法】下記URLよりご確認ください。

<http://www.env.go.jp/press/110415.html>

【説明会】

令和4年1月25日（火）10:30～12:00

当日は下記 URL よりご参加ください。

<https://env.webex.com/env/j.php?MTID=m7a012f748b310f8d51ebbc45e9596393>

※アーカイブ配信 URL は後日、報道発表ページに掲載する予定です。

=====

■地域循環共生圏・なうっ！

(1) 【企業等登録制度】登録企業が増えました

現在、142 団体にご登録いただいております。

脱炭素、サーキュラーエコノミー、農林水産業・地場産品など、前回配信時より新たに2 事業者が登録されました。（令和4年1月20日時点）

・エビス紙料株式会社

・ノウ株式会社登録事業者は下記ページにて紹介していますので、ぜひご覧ください。

http://chiikijunkan.env.go.jp/deau/kigyo_list/

気になる事業者があれば事務局までお気軽にご相談・問合せください！

(2) 【実践地域等登録制度】【企業等登録制度】登録情報更新の受付

ご登録及びウェブサイト掲載がされてから情報の更新が必要でしたら、事務局あてにご連絡ください。

その際には、申請時にご提出いただいた様式の該当箇所を修正した書類のご提出をお願いいたします。変更した箇所が分かるようにしていただけると幸いです。

【登録制度事務局】E-mail : touroku@chiikijunkan.jp（担当：小池、那花）

=====

■『第10回 寺子屋ローカルSDGs』開講のご案内～テーマは外部人材の巻き込み方～

新年1回目！第10回寺子屋ローカルSDGsを2月8日（火）18:00～開催します！

地域循環共生圏において重要な要素である地域資源には、自然資源だけでなく、地域の文化

や人材も含まれます。それに加え、地域の担い手として地域外の人材を呼び込み、更に取り組を発展させたいと考える地域も多いかと思えます。しかし、どのように呼び込めば良いか分からなかったり、受け入れてはみたものの、地域住民と外部人材との関係づくりや地域への定着につまずいてしまったという方も多いのではないのでしょうか。

第10回「学び編」では、一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンの島本さんを先生としてお招きし、外部から人を受け入れる伝統がなかった「漁業」で外部人材を巻き込むことに成功した経緯や外部人材を巻き込む上での課題、受け入れる地域側の雰囲気づくり、その際の留意点といった観点で具体的な事例を交えてお話しいたします。担い手育成事業（TRITON PROJECT）を担当し、これまで50名以上の漁師になりたい若者の受入れを行ってきた島本さんにお話を伺います。質問・交流できるこの機会はととても貴重です！ぜひご参加ください！

【日 時】令和4年2月8日（火）18:00～19:00

（終了後も質問等で最大延長19:30まで予定しております）

【場 所】オンライン開催（Zoom使用予定）

【登壇者】一般社団法人 フィッシャーマン・ジャパン 島本 幸奈さん

【定 員】50名（予定）

【プログラム】

- ① 講義等「海とひと、ウチとソトをつなぐ～海の豊かさをつくる、担い手のつくり方～」
- ② 質疑応答
- ③ ネットワーキング（任意参加）

【参加費】無料

【申 込】<https://forms.gle/dcLbC2ccpczbnkCz8>

（氏名、ご所属、メールアドレスを専用フォームにご記入ください。フォームからのお申込みができない場合には、メールにてお問い合わせください。E-mail : touroku@chiiki.junkan.jp）

=====

■ 『20年後の子どもたちに豊かな森を！ 森里川海 Social Up ワークショップ in 茂木町』
のご案内

実践地域等登録制度にご参加の「一般社団法人 Social Up Motegi」様からサステナブルなまちづくりのためのワークショップのご案内です。

自然のめぐみを活かした経済の循環と仕組みの構築を目指す栃木県茂木町から話題を提供し、地域における森里川海のめぐみを活用して、サステナブルな地域づくりをしたい事業者、自治体、金融機関、個人が知恵を出し合い、アクションにつなげるきっかけとするた

めの場として森里川海 Social Up ワークショップ in 茂木町が開催されます。

【日時】令和4年2月10日(木) 13:00~15:30※オプションプログラムは下記参照

【場所】茂木町民センター 別館ホール

※コロナウイルスの感染流行状況によってはオンライン開催(オプションツアーは中止)

【対象者】自然資源(特に森林資源)の活用に携わる事業者、企業、行政、地域金融機関等

【定員】100名

【参加費】無料

<カンファレンスプログラム>

13:00 開会

13:05 オープニングセッション

環境省、茂木町 / 進行：関東EPO

13:20 基調講演

1. 「五感を通じた木の効果・効用」

荻谷 健司氏(住友林業株式会社 筑波研究所

木のイノベーショングループ チームマネージャー)

2. 「共創のコミュニティについて」

毛塚 幹人氏(前つくば市副市長)

14:20 質疑応答

14:30 休憩

14:40 ソーシャルアップ・ピッチトーク

1. 一般社団法人 Social Up Motegi

テーマ：行政職員が作る地域商社機能について

2. 株式会社関工舎

テーマ：地域材を使った低炭素住宅を手掛ける工務店の今とこれから

3. 芳賀地区森林組合

テーマ：芳賀郡内の森林管理を担う森林組合の今とこれから

4. 喜連川丘陵の里 杉インテリア木工館

テーマ：国産材を使った家具にこだわる家具屋から見た茂木の地域資源

15:20 クロージングコメント

15:30 閉会

<オプションプログラム>

○オプションツアー

9:30 宇都宮駅改札集合 ※プラカードが目印

10:30 茂木中学校

11:10 ふみの森もてぎ
11:40 道の駅もてぎ（昼食）
12:50 町民センター
○ソーシャルアップ・ディスカッション
15:45 進め方の説明
15:50 グループディスカッション
16:30 全体共有
16:45 閉会

【詳細・申込方法】 下記 URL よりご確認ください。

<http://www.geoc.jp/activity/epo/2021motegi.html>

【お問い合わせ先】

関東地方環境パートナーシップオフィス（関東 EPO）

担当：高橋、廣瀬、島田

TEL：03-3406-5180 FAX：03-3406-5064

mail：kanto-epo@geoc.jp

=====

※配信先の追加・変更・配信停止・その他本メルマガに関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

=====

発行：地域循環共生圏メールマガジン事務局

touroku@chiikijunkan.jp

環境省ローカル SDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム HP

<http://chiikijunkan.env.go.jp/>

環境省ローカル SDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム Facebook ページ

<https://www.facebook.com/LocalSDGsplatform.env/>

=====